

「点字編集システム 8」(Ver.8.0.3)の「設定」について

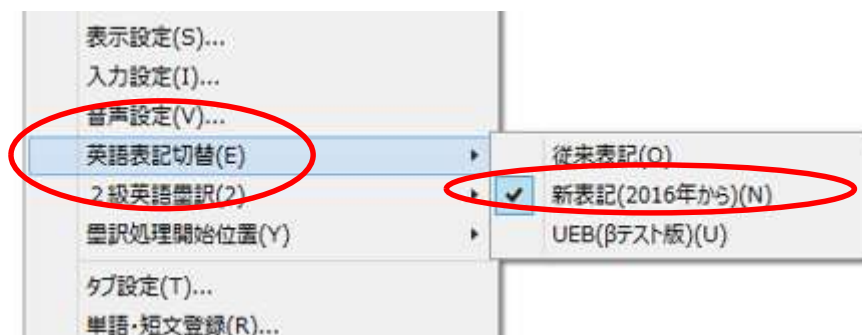
※「点字編集システム7」も同じ設定です。

一般書を点訳する場合は、以下の設定にしておいてください。
メニューバーの「設定」から行います。



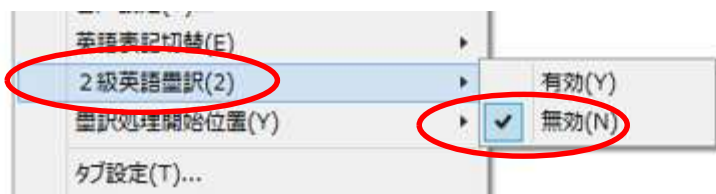
① 英語表記切替 を「新表記(2016年から)」にしておいてください

※ただし、英文のみ点訳するとか、外国語引用符の中を確認したい、というときには「UEB(βテスト版)」を選択します。



② 2級英語墨訳を「無効」にしてください。

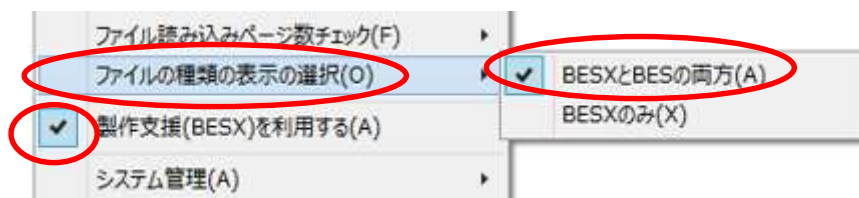
※ただし、2級英語で点訳する場合は、有効にします。



③ 目次のつなぎ線を「5の点」にしておいてください。



④ ファイルの種類を表示の選択「BESXとBESの両方」にしておいてください。



⑤ 上の画面にある「製作支援(BESX)を利用する」にチェックがついていることをご確認ください。

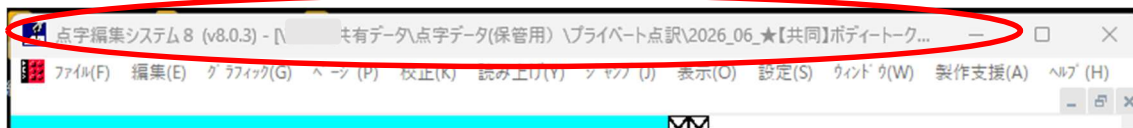
⑥ 「ファイル名の表示」 → 「ファイル名のみ表示」にチェックしておくといいです。



●ファイル名のみ表示のとき



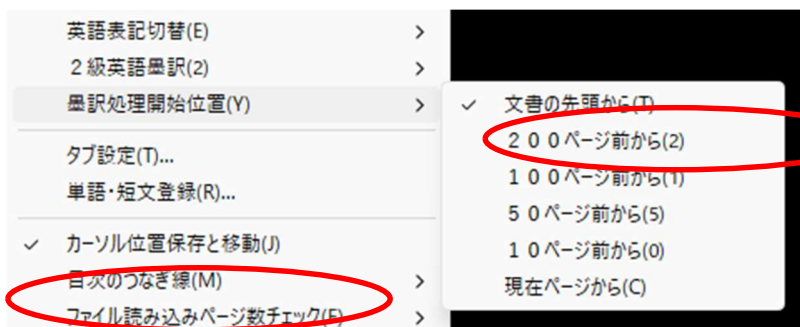
●フルパス表示のとき



2 ファイル同時に開くと、ファイル名が見えなくなることも・・・



⑦ 「墨訳処理開始位置」を「文書の先頭から」にしてください。



※⑦については、最近、点字編集システムを購入された方は初期値で「文書の先頭から」になっています。かなり以前から点字編集システムを使っている方は「10 ページ前から」となっている可能性があります。念のため確認してください。

この設定によって、英語の墨訳が途中から日本語になってしまう、またはその逆という現象がなくなります。

【注意】日本語と外国語が、<外国語引用符なし>で混ざっているような場合は、「文書の先頭から」ではない他の設定を選択するほうがいい場合があります。

★★ その他の設定は、ほぼ初期値のまま(触らなくていい)でいいと思います。★★